

統計スポット情報

No. 178

23. 2. 18

福井県総合政策部政策統計課

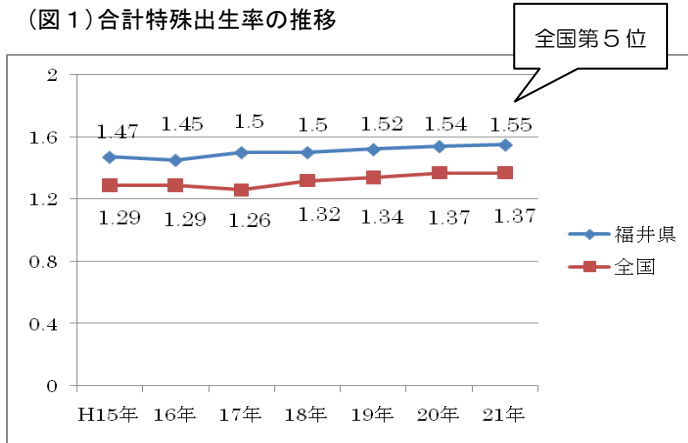
元気で仲良し！福井の家族

2月20日（毎月第3日曜日）は、家族とのふれあい時間（家族時間）を増やす日「家庭の日 家族ふれあいデー」です。

そこで、今回は家族に関する色々な統計を見ていきましょう。



（図1）合計特殊出生率の推移



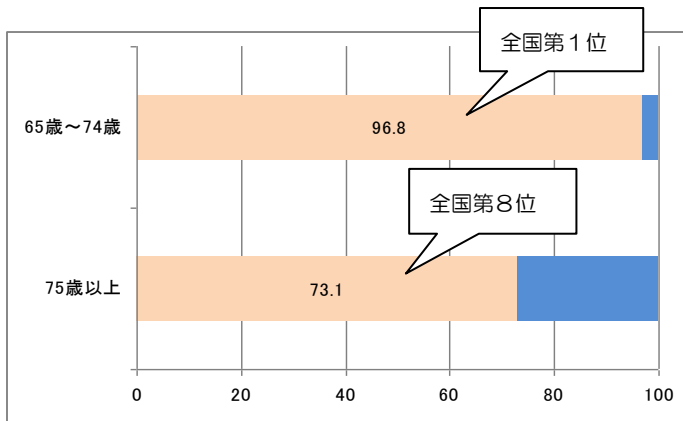
【合計特殊出生率が高い福井県！】

福井県の合計特殊出生率は全国平均より高くなっています。平成21年は福井県が1.55、全国が1.37で福井県は全国で第5位でした。

県独自の子育て支援策に力を入れた成果や、福井県は家族や地域のつながりが強いという環境を反映しているでしょう。

出典：人口動態統計

（図2）要介護認定を受けていない元気な高齢者の割合（%）



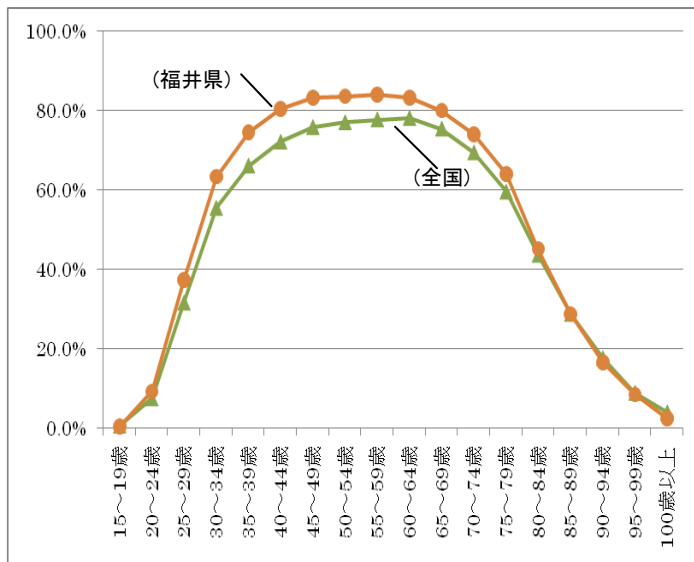
【福井県の高齢者は元気！】

福井県の要介護（要支援）認定を受けていない高齢者の割合を見てみると、65～74歳未満で96.8%（全国第1位）、75歳以上で73.1%（全国第8位）と高くなっています。

65～74歳未満の大部分の方、75歳以上でも4人に3人の方が健康で元気な暮らしを送っています。

出典：介護保険事業状況報告（平成22年3月末現在）

（図3）15歳以上人口における年齢区分別有配偶者率



【夫婦で支え合い！】

15歳以上人口で年齢区分別に配偶者がいる人の割合を見てみると、福井県は80～84歳まではほとんどすべての年齢層において全国値を上回っています。

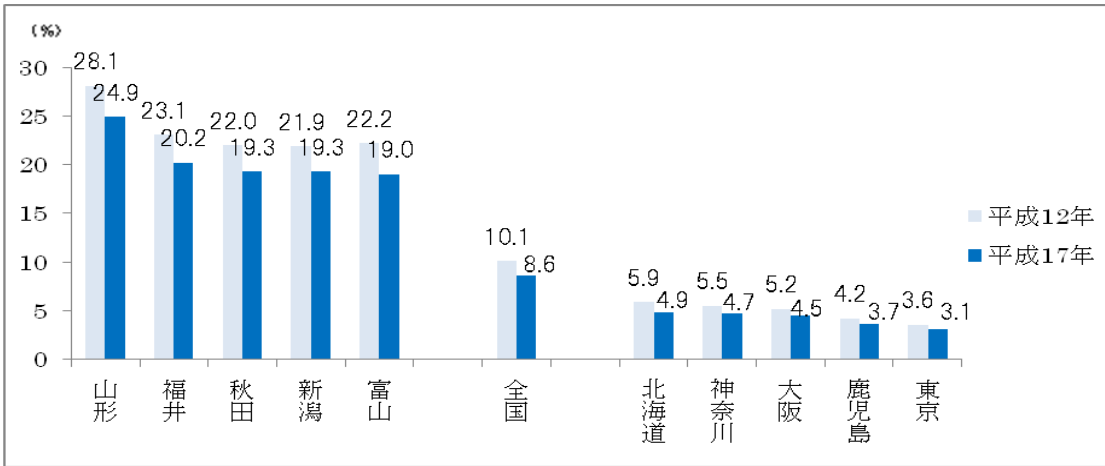
福井県は、幅広い年齢層で配偶者のいる割合が多いようです。

共働き率も高い福井県。夫婦が支え合って年を重ね、元気で暮らせることは、子育て世代を支える原動力にもなっているのでしょうか。

出典：平成17年国勢調査

【三世代で助け合う仲良し家族！】

(図4) 都道府県別三世世代世帯の割合



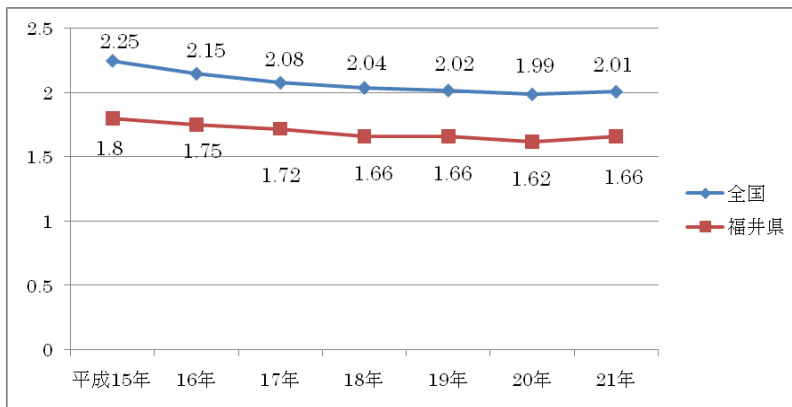
出典：国勢調査

図4をみると、福井県は三世同居率が全国平均より高くなっており、全国第2位です。

三世同居することで、子育て中の子世代にとっては、親世代から育児のサポートを受けやすいというメリットが生まれ、親世代にとっても、「孫育て」に参加することで生きがいも感じられるのかもしれません。

子育てしやすく、健康長寿の福井を支えているのは、三世同居に代表されるような家族のつながりがあるからなのでしょうね。

(図5) 離婚率の推移 (人口千人当たり)



【福井県は離婚率が低い！】

ところで、福井県は離婚率が全国的に見ても低いことをご存知ですか？

平成21年の離婚率を見ると、全国平均が人口千人当たり2.01なのに比べ、福井県は1.66で全国41位となっています。

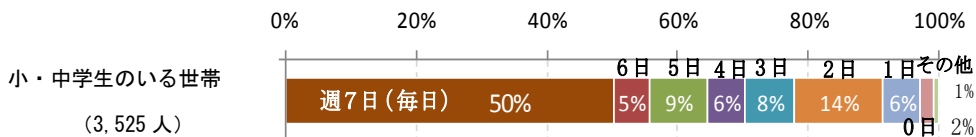


出典：人口動態統計

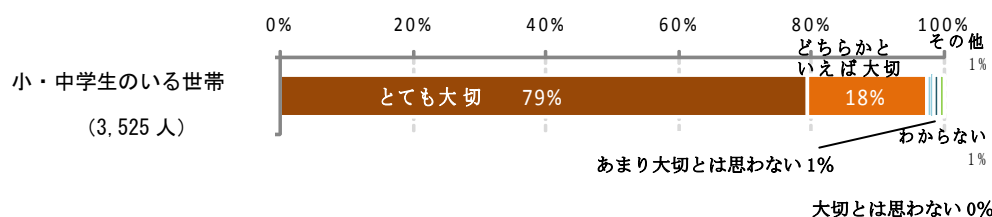
【家族のふれあい大切に！】

(図6) 福井県の「家族時間」の状況

・子どもと保護者がそろって夕食をとるか



・「家族時間」を伸ばすことについて



出典：平成20年「家族時間」に関するアンケート調査結果(政策統計課)

左の2つのグラフから、小・中学生のいる世帯では、50%の世帯が家族と毎日夕食をとり、97%の世帯が家族時間を伸ばすことを大切だと思っていることがわかります。

皆さんも「家庭の日 家族ふれあいデー」を契機に、家族時間について考えてみてはいかがでしょうか。

